

令和7年第5回6月定例会一般質問
質問予定日及び質問順

質問日	質問順	議席番号	質問者	要綱 ページ
6/9	1	20	齋 藤 仁 一	1
	2	19	佐 原 正 秀	1
	3	7	遠 藤 吉 正	2
	4	13	後 藤 誠 司	3
6/10	5	4	高 畑 孝 一	4
	6	5	山 口 文 章	4
	7	6	十二村 秀 孝	5
	8	9	小 島 雄 一	6
6/11	9	2	田 中 修 身	7
	10	3	坂 内 まゆみ	8
	11	1	渡 部 忠 寛	9
6/12	12	11	菊 地 とも子	11
	13	15	齋 藤 勘一郎	11
	14	10	矢 吹 哲 哉	12

一 般 質 問 要 綱

令和 7 年第 5 回 6 月 定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	20	齋 藤 仁 一	1 敬老事業について (1) 敬老会等開催支援事業交付金制度を継続するとしたが、その経緯と基本的な考えは何か。また、交付金が二段階とされている根拠は何か、伺いたい。 (2) 敬老会開催の主体はどこか。市はどのように関わるのか伺いたい。 (3) 喜多方市敬老祝贈呈事業を創設し、100 歳の方には 5,500 円相当の記念品、88 歳の方には 4,400 円相当の記念品を贈呈する事業であるが、3 月議会「喜多方市敬老祝金条例」廃止の時の提案理由及び議会での議論をどのように受け止め、今回新たな提案をしたのか、その理由と金額の根拠について伺いたい。 (4) 高齢者の経験や知恵が生かされる施策の充実強化について伺いたい。
			2 米政策について (1) 市の過去 3 年間（2022 年度～2024 年度）及び今年度の主食用米と非主食用米の作付動向はどのようになっているのか。また、これを受けて市はどのような米政策とするのか、伺いたい。 (2) 旧市町村ごとの耕作断念地（放棄地）の過去 3 年間（2022 年度～2024 年度）の動向はどのようになっているのか。これを受けて市はどのような対策を講じているのか、伺いたい。 (3) 喜多方市農業振興協議会水田収益力強化ビジョンが毎年示されているが、その主体である農業振興協議会ではどのような議論がなされ、ビジョンが策定されているのか、伺いたい。 (4) 非主食用米について生産者の意見反映のための研修会等の開催をしてきたが、どのような意見があったのか。また、その声をどう反映するのか、伺いたい。 (5) 有機農業による稲作付の動向はどのように進展したのか。また、学校給食に使用する有機米の価格はどうなるのか、伺いたい。 (6) 喜多方市農林業ビジョンが 2026 年度までとなっているが、次期ビジョン策定に向けた対応・対策はどのようになっているのか、伺いたい。
			3 市役所組織再編と人事異動について (1) 今年度、市役所組織再編、統合が行われたが、市の基本的な考えは何か。また、再編、統合によるメリット及びデメリットは何か伺いたい。 (2) 人事異動について、1 年で動いた職員数と、課長補佐以上の役職が同時に異動した課の数はいくらになるのか。また、このような人事異動の市の考えは何か、伺いたい。 (3) 新採用職員の職員教育及び配置について、市の基本的な考えと対応について伺いたい。
2	19	佐 原 正 秀	1 生活の質を高める住民サービスについて 自治体は日々、行政サービスの利便性を高め、住民生活の質の向上

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			に資する施策に努めておりますが、そこには住民に愛され、いつまでも住み続けたいと思われる地域づくりを目指す各自治体の想いがあるものと思われます。今後は新たな仕組みやテクノロジーを導入し、住民の利便性や生活の質を向上させる行政サービスを提供することが求められます。そこで、本市における今後の対応についてお尋ねいたします。 (1) 地域ポータルサービスの運用について (2) 窓口業務のデジタル化について 2 業務プロセスを磨き上げるデジタル対策について 業務の見直しや改善、業務の自動化や最適化など、自治体業務の現場では、生産性の向上を目指し、日頃から業務プロセスのブラッシュアップが進められております。そこでは、適切なデジタル技術を選定し、有効に活用することも重要な手法であることは言うまでもありません。今後は、デジタル技術を活用して業務プロセスのブラッシュアップに取り組む体制が求められます。本市の業務改善策における対応についてお尋ねいたします。 (1) 庁内業務のD X推進について (2) 安定したインターネット利用の維持について (3) クラウドP B Xの導入について 3 健やかな成長を支える教育環境の整備について 人手や財源といったリソースに限りがある中で、未来を担う子供たちの健やかな成長に向けて、教育環境をいかに整備するかが大きな問題でもあります。行政の経営力の指標の1つとされており、教育行政における重要な政策課題となります。子供たちの健やかな成長を支えるべく、最新のデジタルソリューションや民間の優れた知見を活かした体制づくりが重要であり、本市の教育行政の方向性と対応についてお尋ねいたします。 (1) 環境教育の充実について (2) 「G I G A第2期」推進の在り方について (3) 学校・保護者間の連絡業務の効率化について (4) 本市の不登校問題について (5) 企業と連携した独自教育の取組について
3	7	遠 藤 吉 正	1 産業振興施策について 本市においても4月5日に喜多方駅前において、ふくしまプレデスティネーションキャンペーンのオープニングイベントが開催され、いよいよ来年の本番に向けて取組がスタートしました。この各取組を一過性にすることなく、本市の産業振興施策の新たなスタートと位置付け官民一体となって推進すべきとの考えから、特にさくらまつり期間中の取組について伺います。 (1) 今年の日中線しだれ桜並木への入込数と経済波及効果について伺います。 (2) 日中線しだれ桜並木の協力金の実績について伺います。また、事

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			業費に対する費用対効果どのように捉えているのか、伺います。 (3) さくらまつり期間中の市内への回遊について、どのように捉えているのか、伺います。また、商店街等とはどのように連携し取り組んだのか、伺います。 (4) 4月より商工観光課がスタートしましたが、統合した目的を伺います。また、さくらまつりも含め、統合してどのような効果が出ているのか、伺います。 (5) さくらまつり期間中も含めレトロ横丁商店街等市内の空き店舗を活用した新たな起業による賑わい創出が見られましたが、起業家へ市としてどのような支援を行っているのか、伺います。また、今後更なる賑わい創出にどのような支援を行うのか、伺います。
			2 雇用施策について 障がい者雇用について県内の公的機関で進んでおりません。障がい者雇用率は、従業員に占める障がい者の割合で、障害者雇用促進法では民間企業で2.5%、公的機関で2.8%の法定雇用率の達成を義務付けています。この雇用について、法定雇用率に未達の公的機関へは採用計画の作成指導がされ、それでも改善が見られない場合、勧告が行われていますが、本市は2024年12月で雇用率が1.29%、県内13市で最低であり6年連続で勧告を受けていることから雇用施策について伺います。 (1) 本市における民間企業と公的機関（市役所）での障がい者雇用の状況について伺います。 (2) 公的機関の雇用について本市は6年連続で勧告を受けていますが、本市の採用計画はどのように作成され、法定雇用率達成のためにどのような取組が行われてきたのか、伺います。 (3) 今後、公的機関の法定雇用率を達成するためにどのように取り組んでいくのか、伺います。
4	13	後 藤 誠 司	1 敬老事業について 今回の6月補正予算において、敬老事業の経費が計上されました。 私も、3月議会の当初予算審議の中で、敬老祝金の廃止に加え、敬老会経費も計上しないのは、現在の礎を築いてくださった先輩高齢者の皆さんに対し、冷たい政策ではないかと申しましたので、敬老会経費の復活は評価をいたします。 そこで、以下の点について伺います。 (1) 令和6年度の敬老会開催の実績を旧市町村ごとに伺います。 (2) 令和7年度の敬老会開催について ア 実施主体について伺います。 イ 一人当たりの交付金額について、敬老会を開催する場合1,700円、記念品を配布する場合1,200円とした根拠について伺います。また、敬老会の開催か記念品の配布かの意向確認は行うのか伺います。 ウ 敬老会の説明会について、その時期と方法を伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(3) 「喜多方市敬老祝贈呈事業」で 100 歳の方に 5,500 円程度の記念品を、88 歳の方に 4,400 円程度の記念品を贈呈することになった経緯と根拠を伺います。 2 令和 6 年度大雪災害による農機具庫等パイプハウスの対応について さきの全員協議会において、令和 6 年度大雪農業災害特別対策事業における農業資材や農機具を保管する施設の対応について報告がありました。 そこで、以下の点について伺います。 (1) 会津総合開発協議会を通じて支援を要望し、県が回答した全ての要件を満たす施設はあるのか、伺います。 (2) 被害に遭った施設の撤去費用の支援が必要と考えるが、いかがか伺います。 (3) 会津坂下町では果樹等の被害に加え、農業資材や農機具の保管庫にも補助をしているが、本市でも補助すべきと思うが、いかがか伺います。 (4) 今後の国・県への要望について伺います。
5	4	高 畑 孝 一	1 小規模・高齢稲作農業者の支援について (1) 地域計画の現状と今後の取組について伺います。 (2) 多面的機能支払交付金制度の下で活動している組織数を地域ごとに示されたい。また、地域農業への貢献度など、その評価を示されたい。 (3) 集落内では小規模・高齢稲作農業者の圃場も多々あるが、こうした耕作形態をどう評価しているのか。また、今後に向けた支援策はあるのか伺います。 (4) 市として小規模・高齢稲作農業者のための相談窓口を開設するとともに、現地指導を担う相談員を配置されたい。 (5) 同様に、農業資材等の購入補助金制度を創設されたい。 (6) 稲作の大規模・集約化農法だけでは持続的な継続は望めないと考える。小規模農業者との併存こそが稲作の継続に繋がると考えるが、市の見解を伺います。
6	5	山 口 文 章	1 公共交通について 公共交通を取り巻く環境については、人口減少・少子高齢化の進行やマイカーの普及により利用が減少するなどの課題があり、その課題を総合的に検討し、持続可能な公共交通体系を構築することが求められています。 そこで、本市の公共交通の現状と今後について伺います。 (1) デマンド交通、A I オンデマンド交通について伺います。 ア 過去 3 年間の一般、スクール別利用者数について伺います。 イ 過去 3 年間の運賃収入について伺います。 ウ 過去 3 年間の運行委託料等の経費について伺います。 エ これまで改善策など行ったのか、また効果について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) まちなか循環線について伺います。 ア 過去3年間の大人、子供別利用者数について伺います。 イ 過去3年間の運賃収入について伺います。 ウ 過去3年間の運行委託料の経費について伺います。 エ これまで改善策など行ったのか、また効果について伺います。 (3) 公共交通の今後について伺います。 ア 「のるーと喜多方」の土日、夜間運行についての考えを伺います。 イ 「のるーと喜多方」及び「まちなか循環線」のネーミングライツ導入の可能性について考えを伺います。 ウ 「公共ライドシェア」について当局の考えを伺います。 エ 「のるーと喜多方」の学生割引など中学校通学に対する支援の考えについて伺います。
			2 旧県立会津農林高等学校耶麻校舎について 令和7年3月1日で、最後の卒業生を送り出し31日をもって約77年の歴史に幕を閉じた旧県立会津農林高等学校耶麻校舎の校舎敷地、農業実習地の利活用について伺います。 (1) 校舎敷地は企画調整課、農業実習地は農業委員会が県と協議をしていくと聞きましたが、現在の状況と今後について伺います。 (2) 県との協議における校舎敷地の利活用について、具体的な提案として農業に関する研修（短期）施設「農業アカデミー」の設立をお願いしたいと考えていますが、利活用について市の前向きな考え（発想）を伺います。
			3 米・食味分析鑑定コンクール国際大会について 「米・食味分析鑑定コンクール」とは、新米が出そろった11月頃に米・食味鑑定士協会が実施するコンクールで、新米の食味鑑定による国際コンクールです。現在5,000検体近く出品され、数多くの自治体との共催によって、世界最大規模のお米のコンクールとなっています。コンクールの受賞者は、国内はもとより海外でも高い評価を得られているそうです。 その国際大会が、令和8年から3年間福島県内（中通り・会津・浜通り）で開催されることになり、会津は令和9年の開催が決定しております。 米の重要性が見直されている今、この大会への市としての関わり方が重要と考えています。市の考え、また今後の取組について伺います。 (1) 現在までの大会での市の関わりについて伺います。 (2) 令和8年からの福島県内大会についての市の取組、また、会津大会へ向けた関係各所、生産者との相互連携などについて伺います。
7	6	十二村 秀孝	1 本市水田農業の在り方について 国は、25年ぶりに改正した「食料・農業・農村基本法」に基づく、初の今後5年間の国の農業政策の方向性を定める食料・農業・農村基本計画を今年4月に決定しました。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			この基本計画では、食料自給率に加え、担い手の数や生産コストの削減など、2030 年に実現を目指す様々な目標を掲げ、検証と改善を繰り返すことにより計画の実効性を高めることとしております。そこで次の 5 点について伺います。 (1) この基本計画では、15ha 以上の稲作経営体が水稻作付面積の 5 割を占めることを目指していますが、本市地域計画ごとの 15ha 以上の稲作経営体の数と水稻作付面積に占める割合について伺います。 (2) 本市地域計画ごとの 49 歳以下の担い手の数と、これら担い手の主な営農類型について伺います。 (3) 農村の高齢化、担い手不足が進む中、集落営農などの農作業の共同化を強く推し進める必要があると考えますが、市の考えと今後の進め方について伺います。 (4) 人口減少と高齢化が顕著な中山間地域において、直播などの省力栽培技術や畦畔法面の除草、水管理の省力化につながるスマート農業技術の導入を推進する必要があると考えますが、今後の進め方について伺います。 (5) 令和元年 6 月議会においても質問しましたが、多面的機能支払交付金の事務受皿の育成に向けたこれまでの取組と今後の進め方について伺います。 2 ふるさと納税について これまでも、ふるさと納税の重要性について質問してきましたが、先日の新聞報道で、県内の令和 6 年度のふるさと納税の寄附額が過去最高を更新し、初めて 100 億円の大台を超える見通しとなり、本市においても、1 億 8 千万円を超え、前年比で 7 千万円の増加となりました。そこで次の 3 点について伺います。 (1) 本市ふるさと納税の過去 3 年間（令和 4 年度～6 年度）の収支の推移について伺います。 (2) 本市ふるさと納税の寄附額の増加は何が要因であったのか伺います。 (3) 令和 7 年度のふるさと納税の寄附額の目標と目標達成に向けた取組について伺います。
8	9	小 島 雄 一	1 喜多方市パートナーシップ・ファミリーシップ制度について 5 月 23 日の全員協議会で説明があった、喜多方市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入について伺う。議論の前提として、性的少数者を不当にコミュニティーから排除したり、イスラム圏のように苛烈な刑罰を加えたりするようなことがあってはならない。中傷罵倒を浴びせたり、安易に笑いやいじめの対象にしてもいけない。しかし、その一方で、この問題は私たちの社会の基本単位である家庭の在り方に大きな影響があり、さらに、社会を支える一般的な倫理道徳観を根本から崩してしまう内容があることを考えると社会的に推奨される行動かどうかをよく検討する必要があると考える。そこで以下

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			の質問をする。 (1) 本市においてこの制度を導入する目的は何か。対象となる人達はどのくらいいるのか調査等を行ったのか伺う。また、対象者の生活上の不便さを軽減するとあるが、市当局にどの程度相談等があったのか伺う。 (2) 性的少数者（L G B T Q）は社会的弱者と考えるのか伺う。 (3) 同性愛は「生まれつきで変えられない」性質なのか考えを伺う。 (4) 同性愛文化の拡大にリスクはないのか。特に、成長期にある子供たちに対する影響をどのように考えるのか伺う。 (5) 充実した夫婦関係を中心とした安定的な家庭を築くことこそ子育ての豊かな土壌となる。これを本市社会の中心とすべきではないか。その上で、悩みを抱えた人に対する手厚いケア体制をつくるべきではないか伺う。 (6) 家庭教育応援宣言や子育て応援宣言はしないのか伺う。 (7) 喜多方市こども計画は子育て応援宣言なのか伺う。
9	2	田 中 修 身	1 終戦 80 年に当たって 今ロシアによるウクライナ侵略やガザでのジェノサイド（集団殺害）など軍事緊張と分断が広がり、第2次世界大戦後の国際秩序が大きく揺らいでいます。 政府は、これまで村山元首相が戦後 50 年、小泉元首相が戦後 60 年、安倍元首相が戦後 70 年にそれぞれ談話を出しました。 石破首相は、過去 3 回の節目と同様、閣議決定した「首相談話」の形で、内外に日本の姿勢を明確に示すべきです。 非核平和のまち宣言都市の市長として、戦後 80 年、日本国憲法に沿って、国民の立場に立って「首相談話」を出すよう石破首相に対し求めるべきです。市長の見解を伺います。 2 児童クラブの待機児童の解消について (1) 4 月 1 日現在で児童クラブの待機児童が 102 名もいることが明らかになりました。これは、驚くべきことです。登録申請者（希望者）は、全員入れるようにすべきです。早急な解消が必要です。 特に、塩川児童クラブの待機児童（高学年 48 名）の解消は急務です。施設を直ちに作るなどして解消を図るべきです。考えを伺います。 (2) 児童クラブの放課後児童支援員の不足を解消するためには、賃金や就業時間等の労働条件の改善が必要です。 支援員不足を解消するための対策について伺います。 3 小中学校の体育館へのエアコン設置について 夏の暑さが年々厳しくなる中で、小中学校の体育館へのエアコン設置は、学習環境や災害対策の観点から喫緊の課題です。 公立小中学校での体育館のエアコン設置率が 18.9%（文科省調査 2024 年 9 月 1 日現在）にとどまることから文科省は 2024 年度補正予算で「空調設備整備臨時特例交付金」（779 億円）を創設し、10 年間

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			で 95%へ引き上げる方針です。 この交付金を活用し、当面、喜多方市指定避難所にも指定されている小中学校体育館へのエアコン設置を求めます。市長の考えを伺います。
10	3	坂内まゆみ	1 喜多方市地域・家庭医療センターについて (1) 急な発熱などは、夜間に起こることが多く、会津若松市の救急外来を受診したという話をよく聞きます。会津縦貫道があるからといっても、車で片道 40 分はかかるため、喜多方市地域・家庭医療センターへの夜間の救急外来診療の実現は、安心して暮らすための大きな課題であります。市のホームページには、「福島県立医科大学会津医療センター（会津若松市）へ移転統合となった旧県立喜多方病院へ通院されていた方々の新たな受け皿機能の整備、高齢化の進む山間地域の医療の確保、夜間の初期救急体制の構築など、本市の医療体制の充実に向けた課題を克服するため、市では福島県から補助を受け、新たな診療所を設置しました。（中略）将来的には、診療体制の充実に合わせて、休日・夜間の初期救急外来診療などを行う計画となっています。」と掲載されています。しかし、移転統合となってから 10 年余りが経ちますが、未だに休日・夜間の救急外来診療は実現されておりません。計画の進捗状況といつ頃を目途に実現していくのか、伺います。 (2) 喜多方市地域・家庭医療センターへ通院している方であっても、特定健診の予約が取れないという話を聞きます。健診の予約が取れない背景にどのような理由があるのか、また、市としてこうした状況を把握し、どう改善しようとしているのか、伺います。 (3) 喜多方市地域・家庭医療センターでは、通院が困難な高齢者等への訪問診療を行っています。高齢化が進んでいる昨今、今後、ますます訪問診療は重要となってきますが、医師の確保が十分でないと、対応できる数も限られてくるものと思います。市として、喜多方市地域・家庭医療センターに対して、どのような支援や関わりをしていく考えか、伺います。 2 消防団について (1) 消防団は、地域の安心・安全を支える地域防災の要であり、火災や災害時の出動はもちろんのこと、夜警などの防火防災の啓発活動など地域に大きく貢献しています。しかしながら、近年、高齢化が進んでいる地域では、新たな団員の確保が難しく、欠員の補充ができていないケースも見受けられます。こうした各地域等の状況をどのように捉えているか、市の考えを伺います。 (2) 消防団員の中には、転勤や病気など様々な事情により長期間活動ができないケースもあると聞き及んでいます。消防団員の報酬は、個人への支払いであります。支払い上で、活動状況などをどのように把握しているのか、伺います。 (3) 消防団員は、会社などで働いている方がほとんどです。火災など

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			の際の出動や消防団の行事で、個人の有休を使って活動しているケースが多いと聞きます。近年では、有休ではなく、消防団活動にボランティア休暇を取得できる企業も増えてきています。消防団の働き方改革の一つとしてボランティア休暇が取得できる企業が増えると、団員の確保にも繋がるものと考えます。市内事業所において、消防団活動に対し、ボランティア休暇を付与している事業所はどの程度あるのか、今後、増やしていくためにどのように取り組んでいくのか、伺います。 3 喜多方市の観光について (1) 今年から日中線しだれ桜と三ノ倉の花畑の駐車場の協力金が500円から1,000円になり、市民の方から「高い」との声が多く聞こえてきました。日中線しだれ桜の場合は、協力金があるためか、近隣の商業施設等への無断駐車が多発し、問題となっているのではないかと感じています。市として協力金の額についてどのように考えているのか、伺います。 (2) 協力金は、乗用車当たり一律の金額であるため、一人でも複数人でも同じです。また、「協力しない」との意思表示をすれば、支払うことがないとも聞いています。公平性のためにも、一人当たりの入場料としていただくべきと考えますが、市の考えを伺います。 (3) 今年は、昨年よりも桜の開花が遅かったにもかかわらず、日中線しだれ桜付近に警備員が多く配置されていました。ツアーなどの大型観光バス対応の警備員が配置されているのは仕方ないとしても、商業施設等への配置は開花してからでも良かったのではないかと考えます。今後、臨機応変な対応ができるよう改善する考えはないか、伺います。
11	1	渡 部 忠 寛	1 商店街と小売店の今後の展望について 喜多方市を含めた多くの地方商店街では、人口減少や商業施設の郊外立地などの理由から中心市街地の空洞化が見受けられる。 スーパーやコンビニ、ドラッグストアなどによる業態の多角化、インターネットによる無店舗販売など多様化しており、日本の商業環境は大きく変容している。そのような背景から小売店からなる商店街は店舗数が減少し、衰退傾向となる地域が多い中、全国各地で商店街活性化について模索されてきた。 活性化には、観光誘客と同時に平素の市民誘客についても注力しなくてはならない。 そこで、本市の目指すべき商店街の在り方や今後の展望について伺う。 (1) 令和6年3月の一般質問で旧市内においては、歴史まちづくり法を活用した商店街の活性化を図るべきとお伝えした。また、昨年10月に塩川駅前通りを活用した社会実験が行われたが、市内商業団体や組合などの関係団体と今後の方向性についてどのように検討されているのか伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) 商店街利用客の年齢層やその人数等について伺う。またそのデータをどのように分析したのか伺う。 (3) 市内の事業者は、多くの市民が商店街や小売店で買物をし、市内消費循環が高まることによる事業所の持続的な存続・発展を望んでいる。市からも「買物は地元の商店で」と市民へ啓発すべきと考える。現状や今後の方向性、啓発手段について伺う。 (4) 本市が発信しているLINE友だち登録数とLINEを活用した商店情報の発信、リンク等ができないか伺う。 2 県立高校跡地と歩道の活用による観光振興について (1) 県立高校跡地の更地やグラウンドの活用 旧喜多方東高校及び旧喜多方商業高校跡地にコンテナハウスやトレーラーハウスを宿泊施設や宿泊車両としている事業者を誘致するとともに、キャンピングカーも利用できるスペースを設けることはできないか伺う。 市街地に宿泊施設や宿泊場所が増えることは、滞在型観光の進展に繋がる（滞在型観光消費額は通過型観光の約3倍）。 また、コンテナハウスやトレーラーハウスは災害時の避難所としても活用できると考えるがいかがか。 (2) ほこみち制度について 国交省が管轄している「ほこみち制度」は、コロナ禍の感染防止のために始まった制度である。アフターコロナ後も歩道の一部を占有してオープンテラスやキッチンカーなどが利用でき、賑わい創出にも繋がる取組でもあることから、全国各地で導入されている。 福島県においては、プレDCが始まり、JRを利用した本市への観光客が増えている。 その中で、喜多方駅前通りの県道210号線（駅から北へ約200m）東西の両歩道は幅員が広く確保されており、通り沿いの住民や事業者等の合意があれば市から県に歩行者利便増進道路の指定を働きかける可能性はあるのか伺う。 3 塩川駅東西自由通路と塩川町都市再生整備について (1) 自由通路の工事進捗について 1月、2月は災害級の豪雪であったが、工期への影響はないのか伺う。 (2) 自由通路の利用に関わる住民説明会の予定について 日程と内容について伺う。 (3) 昨年度の社会実験の結果と今年度の予定について 参加者の意見や当局の観察によってどのように評価分析しているのか。また、今年度の計画について伺う。 (4) 駅舎内の増改修について テナント導入等の募集はかけるのか、また、どのようなテナントを想定しているのか、賃借利用期間についても検討しているのか伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(5) 駅西側ロータリーの所有者について 駅西側のロータリーの所有者について伺う。 (6) 小学生通学路のルートについて 対象通学班別のルート変更について対象となる班数と児童数について伺う。次年度の対象児童保護者に対して、あらかじめ余裕をもって説明をした方が良く考えるがいかか。 加えて、駅周辺は暗所が多く、物騒な事件も全国で頻繁に報道されている。暗所や死角は危険性が伴うとの住民の声がある中で、照度の確保や防犯対策について伺う。 (7) 自転車駐輪スペースについて 駐輪スペースに収まっていない自転車があり、不法投棄のような自転車も多い。整備や対応について伺う。 (8) 改札について 塩川駅での窓口改札は今年度より、7時30分から14時30分となり、従来より3時間短縮された。利用者数と人件費を鑑みてとのことと推測する。 その中で、塩川駅を通過する上下線はワンマン電車が多く、喜多方駅や会津若松駅で下車する割合が多い。窓口対応時間外の一般乗車される方は車内で整理券を取り、車内精算または下車後に駅員対応窓口で精算している。 これらのことから、駅舎内に切符販売機を置くことはできないか。特に、会津若松駅乗車下車の利用者が多い中で、Suica利用を望む声が多いが、JR側で塩川駅に設置の予定があるのか伺う。 (9) 令和8年度以降の塩川町都市再生整備計画について 平成30年から現在まで何度もワークショップを行っている。市は意見を集約してきた中で、現時点での構想はどのようになっているのか。また、住民とのワークショップの予定はあるのか伺う。
12	11	菊地とも子	1 観光振興について (1) さくらまつりについて ア 日中線しだれ桜の入込数について イ さくらまつりの経済効果について ウ 協力金について (2) さくらまつりなどの既存イベントにおいて、ふくしまプレDC用に工夫された取組の効果について 2 高齢者支援について (1) 高齢者おでかけ助成事業について (2) 高齢者にやさしい住まいエアコン設置事業について
13	15	齋藤勘一郎	1 主要地方道喜多方西会津線小舟寺工区について 今年度の事業計画の内容について伺う。 2 県道熱塩加納山都西会津線について (1) 一ノ俣橋工区の進捗状況について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			令和 3 年 9 月に当工区の事業見通しが示されたが、現在工事はどのように進められているのか。新一ノ俣橋の完成とこの区間の供用開始について伺う。 (2) 令和 4 年の豪雨災害で藤巻集落へ行く道路が寸断され、現在集落へは通行止めとなっており、災害復旧工事は実施されているが、藤巻集落への開通予定について伺う。 (3) 出合橋から西会津町との境界まで藤巻地区には 15 の大小の橋があるが、令和 4 年の豪雨災害で橋の被害状況はどのようなであったのか伺う。 3 一ノ戸川、下村堰頭首工の修復について これまで度重なる大雨にさらされ、頭首工本体の一部が大きく決壊しており、昭和 53 年に災害復旧工事で全面改修しましたが、46 年経過しており、老朽化対策と合わせ早急に修復する必要がある、今後どのように取り組んでいくのか伺う。
14	10	矢 吹 哲 哉	1 高齢者への施策を充実させるために (1) 7 年度予算で高齢者への施策（補助事業）で補助金を減額した事業について伺う。 ア 減額した補助事業の総数と合計金額（6 年度比）について イ 減額した主な理由は、一律 10%削減の 7 年度予算編成方針によるものなのか伺う。 (2) 敬老祝金事業の見直しについて伺う。 ア なぜ、88 歳、100 歳に記念品なのか、これまでの 85 歳、90 歳、95 歳を廃止した理由を伺う。 イ 6 年度と比べ補助事業予算額はいくら削減したのか伺う。 (3) 敬老会への補助金の変更等について伺う。 ア 敬老会をした場合と、そうでない場合とで補助金に 500 円違いがあるが、その理由について伺う。 イ 市当局は、それぞれの場合どのような支援、関わり方になるのか伺う。 ウ 全ての地区で敬老会等を実施できるよう支援を行うべきと考えるが伺う。 (4) 高齢者おでかけ助成事業の変更について伺う。 ア 事業の内容と 7 年度の変更内容を伺う。 イ なぜ、変更（70%もの助成額減）なのか、その理由を伺う。 (5) 喜多方市高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画について伺う。 ア 令和 6 年度から訪問介護報酬の削減など、物価高騰の影響で介護事業所の経営が大変厳しくなっているが、市内事業所の現状について伺う。 イ 物価高騰対策への市、県、国の支援について伺う。 ウ 生活支援サービスの見直しを 9 期内（令和 6 年度～8 年度）で行うとしているが、充実する方向で見直すのか、基本的な方向性

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			についてその認識を伺う。
			2 市財政健全化計画（令和7年度～9年度）について (1) 今年度8月初旬に見直し（案）を策定するとしているが、見直し計画策定までの手順、スケジュールについて伺う。 ア 各部署へは、見直し指針は出したのか。出したのなら、その指針の内容について伺う。 イ 公共施設管理計画、中期財政計画との調整について伺う。 (2) 計画の実施について伺う。 市民への周知について伺う。